

機能部品体感シミュレーター PPES Project 及び PPES Solution 概要

PERFECT **CONTROL**
PERFECT **BRAKING**



KASHIYAMA

エムケーカシヤマ株式会社

■ Table of Contents

- ◆ PPES Project 発足経緯
- ◆ Project理念
- ◆ PPES Solution 概要
- ◆ コミットメント
- ◆ 使用機器
- ◆ PPES Solution 想定ターゲット
- ◆ 業界として取組む意義

■ PPES Project 発足経緯

「お客様が私たちの製品を購入する前に、エムケーカシヤマ株式会社 WinmaX のブレーキパッドフィールを事前に試す方法はないか？」
2024年での出発点

エムケーカシヤマ株式会社 WinmaXが抱えていた課題

- ブレーキアイテム含むパフォーマンスパーツを知らない・縁が無いと思われていた層へどのようにアプローチしていくか？
↳ WinmaXのブレーキパッドに変えると、どのような変化があるか体験訴求ができないか
- 純正品とスポーツパッド・キャリパー等の違い訴求

東京オートサロン2025にて
ブレーキフィール体感シミュレーター導入

Eスポーツだけではなく
シミュレーターの活用



ブレーキフィール体感型シミュレーター導入後

- 純正品比較での価値向上 - シミュレーター体験で明確な違いを体感 → パフォーマンスブランドとしてのポジション確立
- ブランド認知顧客の購買率向上 - イベント時には「製品説明」→「SIM体験」→「購入」の仕組みを確立
- 縁が無いと思われていた層への訴求効果 - 特にミニバン・SUV層へのブレーキアイテム興味・必要性の醸成

- 顧客創造の可能性を実感
- 新しいマーケティングツールとして長期的に取組促進

ブレーキアイテムに閉じない、機能部品(パフォーマンスパーツ)全般のマーケティングアイテムの可能性を実感

- 純正車両では味わえないドライビング体験の訴求 → モータースポーツ由来の性能を装着前に体験することの価値訴求
- 実際にエンドユーザーと接点がある場所(ディーラー・量販店)での訴求向上 → これまで機会がなかった方々、クルマ愛好家のチューニング要望、プロツール選択へ最適解の提供
↳ “事前体験”という新しい価値観を通じ、エンドユーザーのミスマッチ解消
↳ パフォーマンスパーツのトータルコーディネートツールとして、体感を通じた価値訴求

PPES Project 理念

- これまでパフォーマンスパーツに縁が無かった方々、本当のクルマ好きの方へ「関与」の仕組みを変えていく
- メーカー側のマーケティング・開発に関わる課題を、体感型テクノロジーを用いて解決する

ブランド認知活動（ソーシャルメディア・イベント等PR活動）で得た認知未購入顧客に対し、体験・体感を用いて積極購入顧客へ移行推進

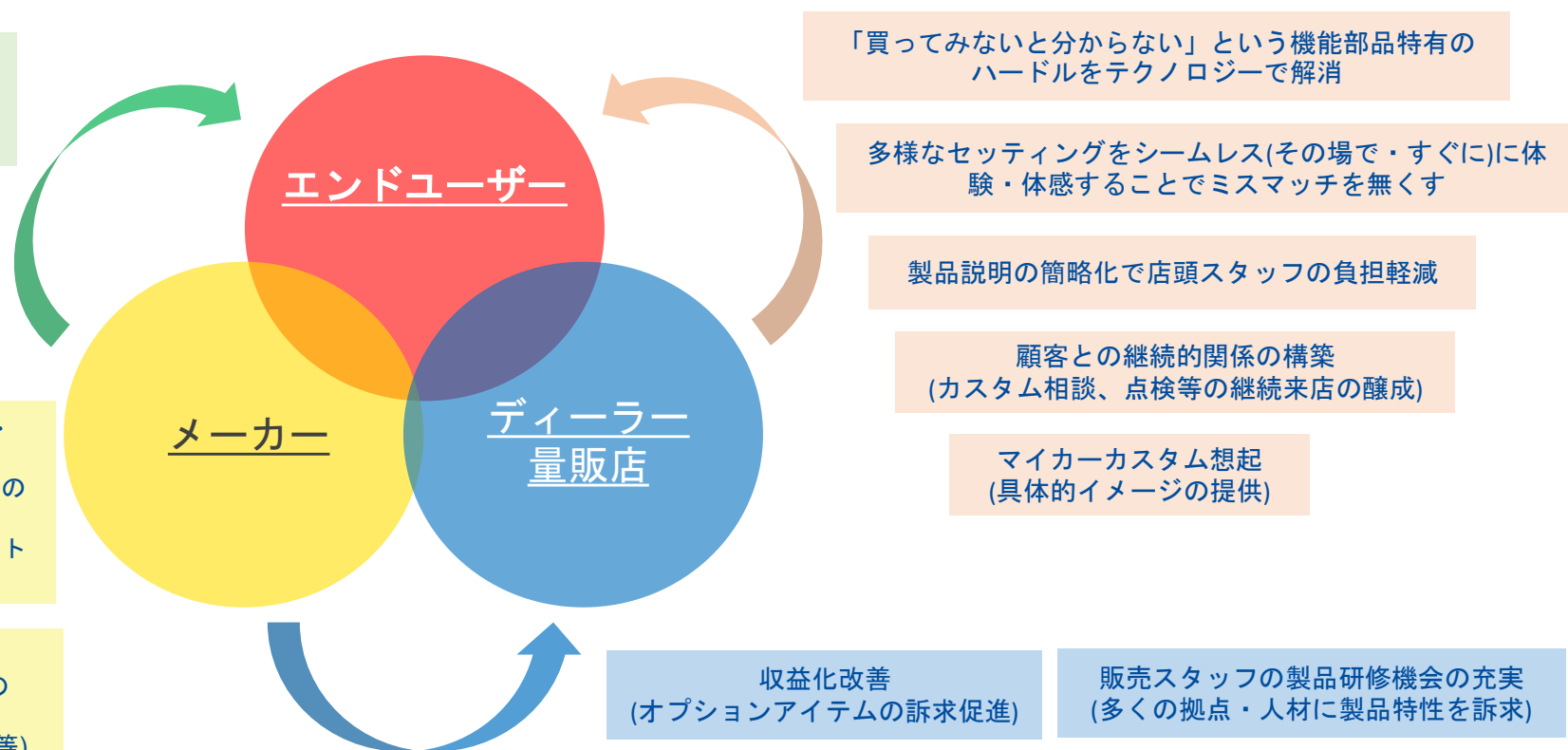
製品の性能特性を含んだブランド浸透を推進
(各メーカーの製品特性でブランド認知訴求)

<完成車メーカー・パーツメーカー製品開発ツール利用>

- ・ コスト抑制 - 実車テストの実施回数削減
- ・ 社内手続き抑制 - 社内設備使用申請、使用后レポート等のフロー削減
- ・ サプライヤー選定の補助 - 実物購買前に感覚値でのテストが可能

<共闘での課題解決>

- ・ 顧客中心・開発者視点ツールとして利用する為、多くのメーカー参画を募る
- ・ 外的要因(人口減少、完成車販売数減少、海外市場訴求等)の問題を業界として解決



■ PPES Solution 概要



創業65年*のブレーキ関連製品製造メーカーと最先端シムビルダーがジョイント
東京オートサロン2025 WinmaXブースで初公開されたブレーキフィール体感シミュレーターを発展させた
高精度データと高性能シミュレーターを用いた“**PPES Solution**”として東京オートサロン2026で発表

■ 高精度データ×高性能シミュレーターが生み出す次世代の価値観

- ◆ PPES Solution のコア技術となる高精度データ生成において、各種競技でも用いられる車載機器からフィードバックされるコーナーリング速度や制動距離、微細な挙動に至る様々なデータを取得し、数値化とデータ反映を実現
- ◆ 高精度データを反映させた高性能シミュレーターを用いることで、実車にパフォーマンスパーツを装着した際にどのような変化があるのかを、実際に運転・フィーリング確認をした際と同等の体感を得ることが可能
- ◆ 高度な再現性に加え公平性を担保する為、テスト経験豊富な株式会社ゼンカイレーシング SIM エンジニア監修の下、実車テストを実施し、入念なセッティングを実施

■ 使用機器



ZR-SX400-Formula/GT
ZENKAIRACINGオリジナル4.1軸モーションSIM
(ActivePedal実装)

- ・ ハイレスポンス、高推力、高い信頼性を持つ国産電動アクチュエータを使用したリアルモーションSIM
- ・ 電動モーターで自在に踏力調整なActivePedal搭載でアクセル・ブレーキ・クラッチフィールを採用



■ PPES Solution 想定ターゲット

私たちはこのPPES Solutionを通じて、“これまでパフォーマンスパーツを試す機会がなかった多くの方々”、“クルマへの愛着があり、より良いドライブフィールや安全性を求める方”、“自分自身のドライビングスタイルを最大限に引き出し、レースシーンでのプロフェッショナルな製品を求めるドライバー”など、クルマと接点がある多くの方々に対し、気軽にパフォーマンスパーツを体感する新しい仕組みを提供することで、ユーザーとパーツメーカー双方の裾野

パフォーマンスパーツを試す機会がなかった多くの方々
(ブランド未認知・未購入層)

クルマへの愛着があり、より良いドライブフィールや安全性を求める方
(ブランド認知・未購入層)

自分自身のドライビングスタイルを最大限に引き出し、レースシーンでのプロフェッショナルな製品を求めるドライバー
(ブランド認知・購買経験有り・非ロイヤル層)

各ターゲットに最適なパフォーマンスパーツ体感を可能に

■ 導入スケジュール

- ① 2026,1 : 東京オートサロン2026でのシステム公開
- ② 2026,2 : 量販店や完成車ディーラー向けシステム説明会開催
- ③ 2026,3～8 : モデル店舗・イベントでの導入テスト
- ④ 2026,9～ : 取扱い店舗拡大 / システム説明会開催

■ 業界として取組む意義

パフォーマンスパーツ業界の「新しい当たり前」をつくる

刻々と変わる経済状況や人口減少等の外的要因、情報収集メディアの多様化、世代間での嗜好の違いへの対応含め顧客への訴求がより困難となっている中、
今後は業界が一枚岩となり、顧客創出の機会を作り出すことが必然と感じています。

PPES Project が提案する“パフォーマンスパーツを事前に体感できる新しい当たり前”は真に開かれた、ユーザーフレンドリーなものであるべきだと考え、特定のメーカーや団体が限定的に使用することは望ましい姿ではありません。

東京オートサロン2026 で参画いただく株式会社キャロッセ・横浜ゴム株式会社・エムケーカシヤマ株式会社 WinmaX3 社の他
PPES Project の理念や活動に参画いただけるメーカーを随時募集いたします。

パフォーマンスパーツを製造するメーカーが将来を見据えながら、新しいユーザーの方々を迎える環境を共に創造する第一歩となることを願っております。

パフォーマンスパーツ選びの「新しい当たり前」をつくる最前線がPPES Project及びPPES Solutionです。

エムケーカシヤマ株式会社
機能部品体感シミュレーター
PPES Project